

お寺を住居に無料貸与

卍教団真木管長が決意 兵庫県南部地震被災者へ

兵庫県南部地震で家屋の倒壊、半壊、焼失等やむなく避難している人々が二十七万人いる。この避難者に対してお寺を丸ごと無料で貸与し住居として活用してほしい、と決断した教団がある。

この教団は福岡県久留米市西町新金丸五四九に教団教務所を置く真言宗諸派連合卍教団(真木応瑞管長)。真木応瑞管長は、今年九十一歳になるが、健康で旺盛な読書力にものを言わせ、世界の情勢を把握し、とりわけ今回の兵庫県南部地震の報道に深く心を痛めており、教団として「何ができるか」を真剣に考えたという。

そこで、真木管長が兼務する寺院が山口県宇部市妻崎開作六〇二三に不動院として存在するためこの寺院をそっくり無料で貸与しようと決意したもの。不動院は本堂・仏間が十畳余り。庫裡は八畳と六畳の二間。境内が広いいためプレハブ住宅も建ててもよい、という。

場所はJR小野田線の長門長沢駅から車で十五分という至便なところにあつて、周囲は農家が点在し環境は良好。

希望者は、教団教務所のある久留米市西町新金丸五四九へ。電話は〇九四二(三三)五二八五、〇九四二(三二)七七八三。詳細は電話でも打ち合わせができる。

避難用住居の情報を

外国人地震被災者を支援

とよなか国際交流協会

必要な物資も日々変化 現地情報

「兵庫県南部地震外国人被災民救援活動実行委員会とよなか」(連絡先=大阪府豊中市北桜塚三ノ一ノ二八・(財)とよなか国際交流協会)では、経済的・言語的なハンディキャップをかかえる外国人被災者への支援のために、緊急避難の住居情報と、救援金の募集を行なっている。また、関係団体と協力しながら、日本人被災者を含め、臨機応変に救助活動を行なっている。

現在、同会には三百件を超す協力の申し出が届いている。外国人被災者からの問い合わせも増えている。しかし現在、特に次のような住宅情報が少なく、大変苦慮している。

必要としている住宅情報は、▽数カ月以上の長期滞在可能、▽交通便のいいところ、▽男性単身や家族、グループで受け入れ可能なところ、▽食事、トイレなどプライバシーが互いに守りやすい独立した家屋やアパート情報。同会の事務局も、各種情報が殺到し、電話はかかりにくい状態。現時点で必要としていることは以下の通り。

1. 外国人被災者のための住居情報

- *一軒家やマンション・アパートなどの独立した部屋の住宅情報(無料・有料問わず)
- *阪急宝塚沿線や、大阪市内・神戸・西宮方面などのホームステイや独立家屋情報

2. 外国人被災者支援の救援金の募金

- *救援活動は長期化の様相を呈している。テレホンカード(使用可能)も受け付け中
- *各種経費や関連する支援活動のための募金を広く求める
- *必要な救援物資も日々変化し、救援金でそのつど購入する方が助かるとの現地情報がある。
- *事務局へ現金書留か直接持参を望んでいる(税金控除の措置はない)。

3. 救援物資で、現在集まっている分は、

●とよなか国際交流協会(〒560 豊中市北桜塚三ノ一ノ二八、電話06-843-4343、ファクス06-843-4375)まで。

4. 今後の救援物資は、以下の各市役所へ。

- 神戸市役所 電話078-322-5220
送り先 郵便小包〒650-70 神戸市役所「市災害対策本部」
- 西宮市役所「市災害対策本部」 電話0798-35-3414
- 芦屋市役所「市災害対策本部」 電話0797-38-2099

送る際、箱の外に何が何個入っているかを書き、赤字で「救援物資在中」と明記のこと。

5. 「外国人のための地震情報センター」は、電話06-941-4793。英語、フィリピン語、スペイン語、タイ語、ドイツ語、ポルトガル語でそれぞれ対応している。